

特別支援学校の教育の充実

課題 1

知的障害特別支援学校の教育環境の整備

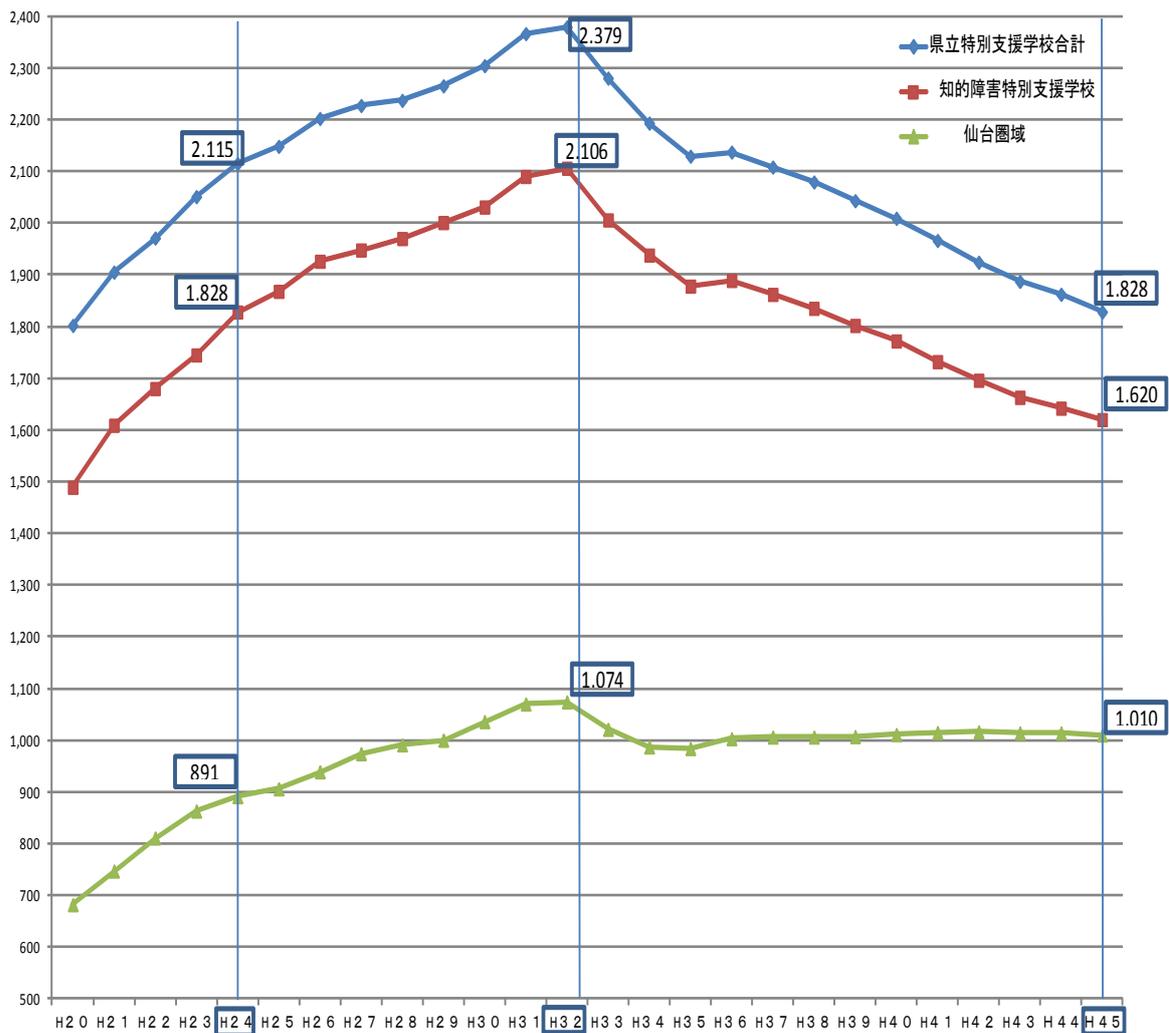
- 知的障害特別支援学校の児童生徒数は平成 32 年頃をピークとして増加しその後減少に転じるが、仙台圏域の児童生徒数は横ばい状態が続くことが推測されるため、狭隘化対策が必要である。

第 1 回審議会の意見

- 児童生徒数の増加が際立っている知的障害特別支援学校の狭隘化対策が必要である

参考資料

[県立特別支援学校（知的障害）児童生徒推移]



(H24.5.1 現在の児童生徒数で推計)

[県立特別支援学校（学部別）学級数の推移]

全体	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数
小学部計	172	163	170	179	181	185	190	191	183	187	15
中学部計	110	114	110	106	103	117	125	124	123	123	13
高等部計	167	174	170	178	183	184	194	197	215	216	49

知的障害	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	増減数
小学部計	115	114	123	133	136	139	144	149	143	144	29
中学部計	78	75	72	75	75	90	95	99	98	100	22
高等部計	127	131	130	136	138	140	151	156	175	176	49
仙台圏域（小学部）	53	53	55	58	57	63	64	66	65	70	17
〃（中学部）	40	37	35	39	41	45	50	50	49	46	6
〃（高等部）	52	57	58	59	56	57	67	72	81	84	32

※増減数はH16とH25の比較

[県立特別支援学校プレハブ校舎設置状況]

	光明支援	古川支援	名取支援	利府支援	石巻支援	山元支援
仮設	4棟 8室	1棟 2室	1棟 4室	1棟 4室	—	—
本設	1棟 4室	1棟 4室	—	1棟 8室	1棟 12室	1棟 4室

論 点

- 知的障害特別支援学校の狭隘化解消に向けた方策について

課題 2

知的障害以外の特別支援学校の教育環境の整備

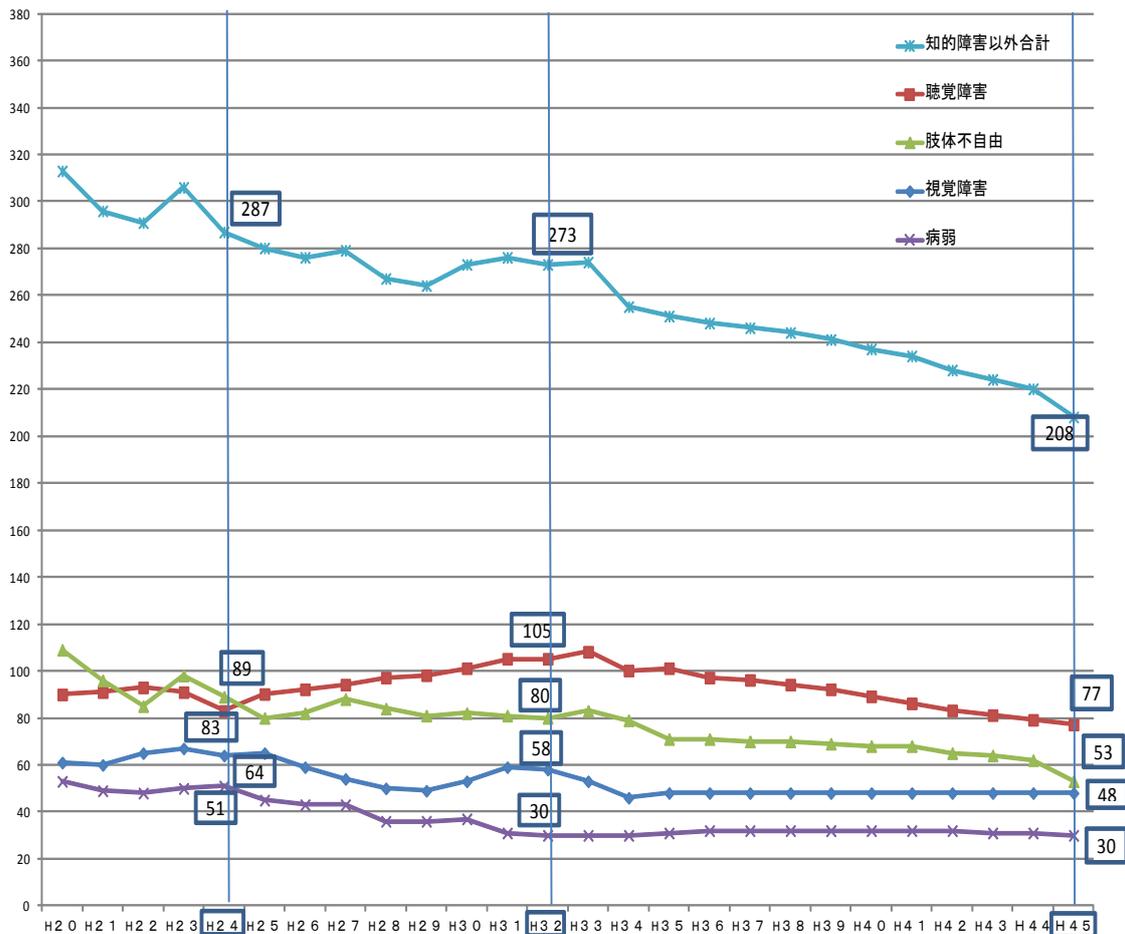
○ 知的障害特別支援学校と異なり、児童生徒数は横ばいかやや減少することが推測され、このことを踏まえた教育環境の整備と社会の変化に対応した学科の再編について検討する必要がある。

第 1 回審議会の意見

- 知的障害以外の特別支援学校も含め、複数の障害種の「併置化」を検討する必要がある。
- センターの機能をさらに発揮するため、高い専門性を持つ人材の育成が必要である。

参考資料

[県立特別支援学校（知的障害以外）児童生徒推移]



(H24.5.1現在の児童生徒数で推計)

[県立特別支援学校（専攻科）生徒数推移]

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
視覚支援	22	18	25	28	25	21
聴覚支援	6	2	5	9	4	4

※視覚支援：2学科（理療科，保健理療科），修業年限3年，定員16名

※聴覚支援：4学科（産業工芸科，機械システム科，被服科，理容科），修業年限2年，定員32名

[全国の併置校の状況]

都道府県数	47
併置無し都道府県数	4
併置有り都道府県数	43
併置校数	201
(内訳)	
知+肢	118
知+肢+病	20
病+肢	17
知+病	14
知+肢+病+聴+視	14
知+聴	10
知+視	2
視+病	1
知+肢+病+聴	1
知+肢+聴	1
肢+病+視	1
知+病+聴	1
知+肢+視	1

[全国の併設校の状況]

都道府県数	47
併設無し都道府県数	34
併設有り都道府県数	13
併設校数	16
(内訳)	
聴+知	6
視+聴	4
視+知	2
知+普通校	2
視+肢	1
知+知（高等学園）	1

※併置校とは二つ以上の教育部門がある一つの学校

※併設校とは同一の敷地内で一部施設等を共有する二つ以上の学校

論 点

- 複数の障害種の「併置化」と学科の再編に向けた方策について

課題3

進路指導の充実に向けた方策

- 生徒の能力や適性，希望に応じた進路指導を行う必要がある。

第1回審議会の意見

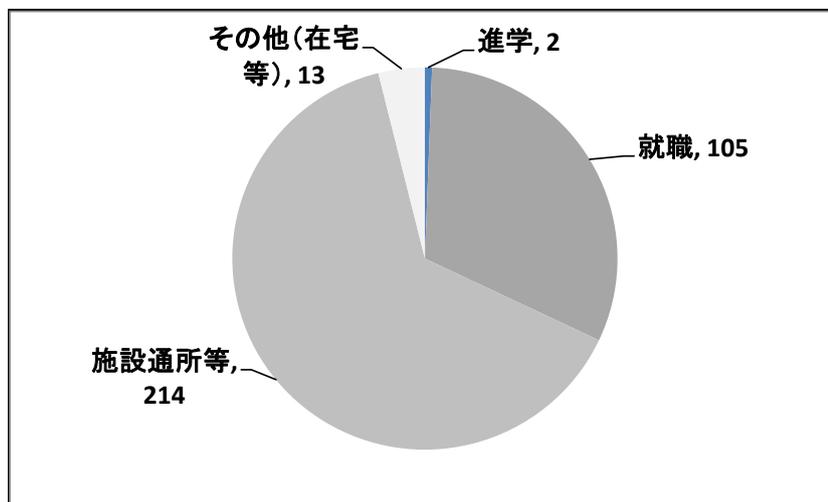
- 就職はゴールではなく，スタートである。就職してからが大変である。

参考資料

[進路先別生徒数]

	卒業者数	進学	就職	施設通所等	その他(在宅等)
H21	319	17	92	175	35
H22	302	15	88	163	36
H23	292	8	82	183	19
H24	334	2	105	214	13

[H 2 4 県立特別支援学校高等部進路先別生徒数]



論点

- 一般就労を含め，生徒の能力を生かし社会参加につながる進路指導の方策について

課題 4

障害の重度・重複化，多様化に対応するための方策

- 障害の重度・重複化，多様化がみられ，それぞれの児童生徒の教育的ニーズに応じた指導の充実を図る必要がある。

第 1 回審議会の意見

- 子どもたちへの多様な対応を行うために，教員の専門性の維持・充実が課題である。

参考資料

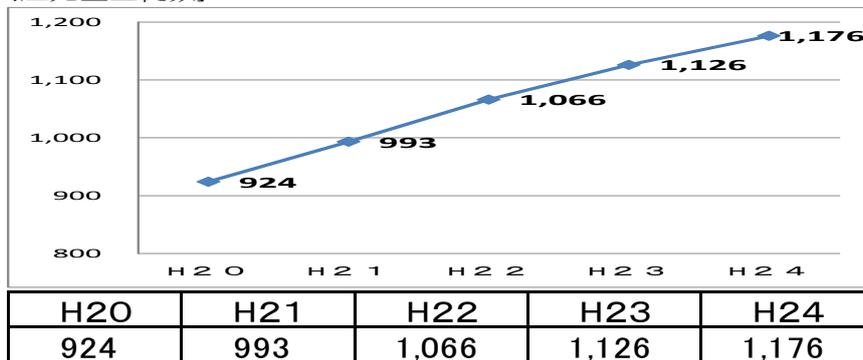
[重複障害児童生徒数・医療的ケア対象児童生徒数]

	H21	H22	H23	H24
重複障害児童生徒数	442	399	407	403
医療的ケア対象児童生徒数	59	60	63	67

[医療的ケア内容別児童生徒数]

	H21	H24
経管栄養	52	104
吸引	41	65
吸入	10	29
呼吸管理	10	27
その他	23	49
合計	136	274

[自閉症児童生徒数]



論 点

- 障害の重度・重複化，多様化に対応するための方策について

課題 5

軽度の知的障害のある高等部段階の生徒に対する教育について

○ 県内に2校ある高等学園の受検者数は100人を超える状況であり、特別支援学校の高等部へ進学する軽度の知的障害のある生徒も増えていることから、こうした生徒に対する高等部の教育の在り方について検討する必要がある。

参考資料

〔高等学園入学者選考状況〕

	定員(各学年)	受検者数	入学者数	不合格者数
H20	64	102	64	38
H21	56	98	61	37
H22	56	99	61	38
H23	56	103	64	39
H24	56	106	65	41

〔高等学園設置年度，学科，定員〕

	設置年度	学科	定員(各学年)
小牛田高等学園	S63	普通科	16
岩沼高等学園	H13	産業技術科	40
東部高等学園	H28(予定)	職業学科(予定)	24(予定)

論 点

□ 軽度の知的障害のある高等部段階の生徒に対する環境整備について

課題 6

交流及び共同学習の推進

○ 特別支援学校の児童生徒の居住地校学習への参加率は30%前後となっており、さらに多くの児童生徒が参加できるような方策が必要である。

第1回審議会の意見

○ 居住地校学習について、通常の学校側からの評価を知りたい。

参考資料

【通常の学校側からの声】

- ・子どもたちは居住地校学習を楽しみにしている。
- ・同じ学区内に支援学校の子どもがいることを知るよい機会になった。
- ・子どもたちの心の成長の上でとても効果的であった。
- ・学級内で互いに協力して活動する気持ちが高まった。
- ・障害や障害のある人たちへの理解を促す機会となった。

【居住地校学習実施状況】

	平成16年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
支援学校数	9	17(分校2校含む)	17(分校2校含む)	18(分校3校含む)	18(分校3校含む)
協力校	52(小46、中6)	203(小139、中64)	208(小153、中55)	197(小140、中57)	223(小153、中70)
参加人数	63(小56、中7)	259(小176、中83)	265(小185、中80)	251(小177、中74)	298(小199、中99)
参加回数	165(小146、中19)	754(小529、中225)	820(小594、中226)	792(小555、中237)	1,021(小682、中339)
交流実施割合(参加人数/小中学部在籍数)	8.0%	27.2%	27.0%	25.1%	29.6%
非常勤講師数	2	10	9	8(東京都派遣含まず)	10

論 点

□ 交流及び共同学習をさらに充実させるための方策について

課題 7

特別支援学校のセンター的機能のさらなる充実

- 発達障害など特別な支援を必要とする児童生徒への対応が喫緊の課題となっており、センター的機能の充実が求められている。

第 1 回審議会の意見

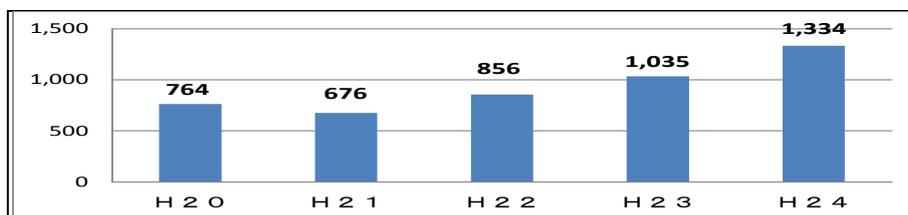
- 地域におけるセンター的機能のさらなる充実が必要である。
- センター的機能はとても助かっている。
- センター的機能について、通常の学校側からの評価を知りたい。

参考資料

【センター的機能を受けた学校側からの声】

- ・ 就学指導の参考となる情報を得ることができた。
- ・ 進路指導の際に、保護者との連携の在り方などについての助言が参考になった。
- ・ 保護者と連携し、指導内容などについて確認することの大切さを示していただき、参考になった。
- ・ 障害やその支援の方法等について参考となる助言をいただいた。

【センター的機能による相談・助言の数】



論 点

- センター的機能をさらに充実させるための方策について